

海外安全対策情報

【2019年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省内では、街中に監視カメラが設置され街頭犯罪減少に役立っており、山東省
の治安は比較的良好と言われています。それでも、各種犯罪は日常的に発生してい
て、時には凶悪犯罪と呼ばれる事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴
う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケース
も報道されています。さらに、投資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返ってこ
ない特殊詐欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬
物犯罪が後を絶たない状況にあります。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこ
とはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しないように気をつけなければなりま
せん。また、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象にな
ります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場など
でトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような
点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 殺人（胶州市）

12月9日、胶州市内の住宅で男が血まみれで倒れているのが発見された。男の死
亡が確認され、胶州市公安局が捜査したところ、被害者と姉夫婦が遺産相続で長年
もめており、事件当日も被害者と姉の夫が喧嘩していたことが判明した。姉の夫
は、事件当日から行方がわからなくなっていたが、18日になり派出所に出頭してき
た。同人によれば、数年前から遺産相続でもめていたところ、事件当日喧嘩した
際、長年の恨みが爆発して刃物で切りつけ殺害したとのこと。

海外安全対策情報

(2) 公共安全危害（青島市）

青島市内を走行中のバスにて酒に酔った64歳の男が、バスの前の扉から降りようとしたため運転手が止めたところ、男と運転手が言い争いとなり、激高した男が運転手を引っ張ったため、バスは制御不能となり下り坂を数m滑った。運転手がすぐにブレーキをかけたためバスは止まったが、男の行為は公共安全に危害を加える罪にあたり、12月某日法院において懲役3年の判決が下った。

(3) 偽100元札使用（膠州市）

11月19日膠州市公安局は、偽札を使いおつりを詐取した夫婦を検挙し、偽100元札13枚を押収した。同夫婦は、14日膠州市内の商店で5元の商品の買った際、偽100元札を出しおつり95元を得ていた。その後、同100元札を疑った店主が警察に通報し、偽札であることが発覚した。警察が、夫婦が使用していた車両を割り出し、車両に乗っていた夫婦を検挙した。同夫婦によれば、市場などに行つて偽札と気が付かれにくい老人の店で偽札を使い、おつりを詐取していたとのこと。現在、警察が入手経路を捜査中である。

(4) 車両放火（青島市）

11月26日李滄区公安は、給料未払い経営者の車に火をつけた元従業員の男を検挙した。同男は、今年8月から李滄区内のレストランで働いていたが、1ヶ月後、経営者が店を転売したので給料を払えないと告げられた。男は他の従業員と経営者に給料を払うように掛け合ったが、言い訳を重ねて支払られなかったことに腹を立て、経営者の車の窓ガラスを割って度数の高いアルコールを車内に入れて火をつけた。

(5) 強盗（膠州市，青島市，荷沢市）

ア 連続路上強盗（膠州市，青島市）

11月20日膠州市公安局は、4件の強盗を犯した男3名を検挙した。同男らは、13日深夜膠州市内の道路上において、拳銃様の物を通行人に向けて脅迫し、ポケットから現金800元を奪って車で逃走した。公安局が逃走した車を割り出したところ、同車は青島市城陽区も走行し、膠州市の事件の30分前に城陽区内において同様の強盗事件が発生していたことが判明、男らの身元を割り出し、男らが集まったところで検挙した。同男らによれば、11月12日から13日の間に、おもちゃの拳銃を使って4件の強盗を犯したとのこと。

イ 強盗未遂（荷沢市）

11月23日、荷沢市において若い女性が車の運転席に乗り込もうとしたところ、男が女性の腕を掴んで運転席に押し込み、助手席と後部座席に入ってきた男が七首と拳銃を示して車に乗るよう脅した。女性が抵抗し揉み合いとなり偶然クラクションを鳴らしたため、男らは付近に止めてあった車両で逃走した。警察が捜査したところ、逃走に使用した車両を湖北省で発見し、26日、付近の一室にいた男3名を検挙した。男らはそれぞれ、起業に失敗したり高利貸しから借金があ

海外安全対策情報

ったため、強盗をしようと思いついたが失敗したので、次は湖北省で強盗をしようと計画していたところで検挙された。

(6) 女性に対する暴行（青島市）

10月3日、青島市黄島区においてマンション内で女性が暴行される事件が発生した。同女性は夜帰宅した際、待ち伏せていた男から交際を迫られたが女性が断ったため、首を絞められ気を失ったところ、住民がゴミを捨てに出たので、男は逃走した。公安局が付近の監視カメラを確認したところ、男が手にしていたペットボトルの購入先から容疑者を割り出すことができたため、翌4日同容疑者を検挙した。

(7) 露出狂（青島市）

10月28日20時ころ、即墨区のバス停でバスを待っていた女性に対して男が下半身を露出して見せる露出狂が現れた。即墨公安分局が監視カメラ映像を解析した結果、翌29日同男を検挙した。同男によれば、仕事上のストレスが溜まってムシャクシャしていたところ、バス停に女性が一人でいたことから憂さを晴らすために下半身を露出し女性に見せたとのこと。同男は10日間の行政拘留に処せられた。

(8) 誘拐計画（青島市）

11月初、青島市公安局ネット警察隊は、ネット上に「誘拐する格好の対象者がいるので一緒に金を稼ごう」との書き込みに対して反応した人物が即墨に来たとの情報を得た。公安局が捜査したところ、書き込みをした男を特定して検挙、手錠、折りたたみナイフ、スタンガン等を押収した。男の供述から、書き込みに反応した人物を浙江省で検挙した。男は、ネット賭博で多額の借金があったことから、誘拐で金を脅し取ろうとしていた。

(9) 盗撮（青島市）

12月6日、城陽区内のビル女子トイレ内で女性が個室に入っている時に、カメラのフラッシュが光った。同女性がすぐに管理会社の監視カメラ映像を確認したところ、男が女子トイレに侵入した後、手に携帯電話を持って逃げる様子が映っていた。警察が臨場し捜索したところ、まだビル内の男子トイレにいた男を検挙した。所持していた携帯電話には、多くの盗撮画像が記録されており、男は女性の後にトイレに入って、個室ドアの下の隙間から携帯電話を差し込んで盗撮していた。

(10) 窃盗（青島市、胶州市）

ア 連続店舗荒し（青島市）

9月中旬以来、青島市市北区では店舗荒しの被害が連続発生していたことから、警察が捜査したところ、被害発生店舗付近に居住する容疑者を割り出した。10月5日夜、同容疑者を犯行現場で捕まえ、犯行に使用する工具や盗品の一部を押収した。同容疑者によれば、門扉や窓を壊して店舗に侵入し、現金や高価な酒タバコなどを盗む手口で、今年8月からこれまでに10件の犯行を行い、5万元強を得ていたとのこと。

海外安全対策情報

イ 常習窃盗（胶州市）

10月9日、胶州市公安局は、胶州市内で市場に来た客を狙って盗みを繰り返していた窃盗常習犯の男を検挙した。同男は、市場に来た客が電動車のカゴに入れていた鞆を盗み、中の貴重品を取り出し鞆を捨て、再度市場に戻って盗みをしようとしたところで、警察官の職務質問を受け、他人の財物を持っていたことから検挙された。同男によれば、今年8月以降、諸城市や胶州市の市場で6件の窃盗を繰り返し、1万元を得ていたとのこと。

ウ 常習侵入盗（胶州市）

11月19日胶州市公安局は、侵入盗を繰り返していた男を検挙した。同男は、2018年に窃盗の刑期を終え出獄した後も、胶州市や城陽区で住宅に侵入して窃盗を行っていた。2018年以降これまでに50件強の犯行を行い、5万元を得ていた。

エ 連続車上ねらい（青島市）

11月27日黄島警察は、青島、日照、煙台、濰坊などの多くの都市で車上ねらいを繰り返していた夫婦を検挙し、携帯電話、タブレット、ノートパソコンなどの盗品を押収した。同夫婦の夫は、2017年から二人で各地へ遊びに行った際、車の窓ガラスを割って車内の物を盗んでいた。夫の行動を怪しんだ妻が追及したところ、夫は盗みを白状したが、妻も手伝うようにひきづりこまれた。夫婦はこれまでに100件強の犯行を行い、30万元強を得ていた。

（11）詐欺（青島市、胶州市、山東省、済南市）

ア 詐欺集団検挙（青島市）

10月6日、青島市公安局城陽分局はネット詐欺集団の一員を検挙した。同集団は、知り合いを騙って航空券の代理購入をさせ、偽の航空会社に金を振り込ませる手口で金を稼いでいた。また、捜査の過程で、同集団は稼いだ金を偽造キャッシュカード販売に注ぎ込み、更なる犯罪を行っていたことが判明したため、今回の検挙に至った。同集団は、これまでに100万元強を荒稼ぎしていた。

イ 美人局（青島市）

近日、青島市城陽公安は、今年8月以降派遣型風俗の客に対して暴行を加えるなどして金を奪っていた「美人局」グループ4名を検挙した。同グループは、派遣型風俗のチラシを見てサービスを頼んだ客に対して、サービスを受けた受けなかったにもかかわらず、ホテルやマンション内に行ってスタンガンなどで脅し金を奪う手口で、これまでに10万元を稼いでいた。

ウ 支払いバーコード張替詐欺（青島市）

10月17日青島市市北警察は、露天に張ってある微信の二次元バーコードを張り替え、金を自分に振り込ませていた男を検挙した。同男は、10月7日から15日の間、夜中や朝に店や屋台に張ってある支払い用微信二次元バーコードを自分のものに張り替え、店主が気が付かないのに乗じて、代金を自分の微信に振り込

海外安全対策情報

ませており、これまでに 200 元を得ていた。

エ 偽造ブランド洗剤販売（胶州市）

10月27日胶州市公安局は、低品質の洗剤を有名ブランドの袋に入れて偽造し販売していた小売店店主らを検挙した。当該店主は、郊外に部屋を借り、同所に低品質の洗剤を運び込み、部屋内でネットにて入手した有名ブランドの洗剤袋に詰め替え、自分の店で販売していた。同店主によれば、2018年8月から偽造を始め、これまでに5万元分の偽造洗剤を販売していたとのこと。

オ QQグループチャット内振り込み詐欺（山東省）

山東省公安厅反電信ネット詐欺センターによれば、最近学校のクラス内QQグループチャット上で「班主任」を名乗り、親から材料費などの名目で金を振り込ませる詐欺が多く発生しているとのこと。某学校のクラスのグループチャットに、「班主任」が二次元バーコードをアップし材料費として300元を振り込むように伝えたところ、50名以上の親が合計15,000元強を振り込んだ。その後、本物の班主任の先生がこの「班主任」は偽者であると言ったことから詐欺が判明した。

この種の詐欺は、あらかじめグループチャットに入り込み、チャットを分析して班主任の先生を特定し、先生が授業中でチャットをできない時間を見計らい、班主任に似せたアカウントを作って、金の振り込みを要求する手口である。

カ ネット株取引詐欺（青島市）

11月23日城陽区公安は、QQのグループチャット上で未公開株取引があると偽り、金を騙し取っていたグループ3名を検挙した。同人らは、元々金融コンサルタント会社に勤務し、QQ上で株取引に関するグループチャットを運営していたが、稼ぎが悪かったことからネットで騙して金を稼ぐことを思い付いた。同人らは、株動向に関するグループチャットを無料開設し、時期を見計らって未公開株取引を持ちかけ、金を振り込ませたらQQのIDを放棄していた。同人らは、一年間で30万元を騙し取っていた。

キ 査証手続き詐欺（済南市）

イ博市出身の調理師は、海外で仕事をするため済南市にある仲介業者にニュージーランド行きの手配を依頼し、32000元を支払った。契約上では、3~5ヶ月で査証手続きが終了するとあったが、4ヶ月が過ぎても査証が下りず、担当者と連絡がとれなくなった。同仲介業者に査証手続きを依頼し、2万~5万元を支払っている者が多数いるが、同様に担当者と連絡が取れなくなったり、会社が回答しない状況であることから、現在警察が捜査を開始した。

（12）違法薬物（平度市、青島市、煙台市）

ア 違法薬品販売（平度市）

9月下旬平度市公安局は、ネット上で一酸化二窒素（笑気）を販売している男

海外安全対策情報

を発見した。同男の家を捜索したところ、笑気が入っている容器、輸送車両、移し替え装置を押収した。同男の供述から笑気の入手元を捜査した結果、笑気の不法販売アジトを割り出し、経営者ら3名を検挙し、笑気1440キロを押収した。

イ 偽薬販売（青島市）

10月15日李滄区公安分局は偽の精力剤を販売していた男を検挙した。同男が精力剤として販売していた薬品には、国が禁止しているシルデナフィルという成分が含まれており、同成分は大量に若しくは長期間に渡って摂取すると、臓器を損傷する恐れがあるなど重大な副作用がある。同男によれば、2015年から日用品を売る商売を始め、2018年にネットで入手しにくい精力剤を見つけ仕入れて販売したところ売れ行きが良かったため、販売を続けたとのこと。

ウ 覚醒剤密売（青島市）

10月25日城陽区警察は、覚醒剤を使用、密売していたグループ4名を検挙し、覚醒剤200g、錠剤型覚醒剤20個を押収した。城陽区警察は、見慣れない車両が頻りに駐車し不特定多数の人が乗り降りしているとの匿名の通報に基づき、当該車両を捜査したところ、同グループの住居を突き止めた。同住居のゴミからプラスチック容器やストローを発見し、同ゴミから薬物反応を検出したことから、4名が集まったところで住居に突入し、覚醒剤を吸引中のグループを検挙し、密売用覚醒剤を押収した。

エ 日本からの医薬品密輸違法販売（煙台市）

近日、煙台市公安局は、日本から抗精神病薬、麻酔薬などの医薬品を密輸し、ネット上で隠語を用いて販売していた2グループ、容疑者18名を検挙し、密輸した医薬品198瓶、処方薬品317箱、強力睡眠薬4700個など大量の違法薬品を押収した。公安局によれば、このような違法薬品をQQやwechatなどにおいて隠語を用いて販売しており、購入者は20歳くらいの若い者が多いとのこと。

（13）ネット犯罪（青島市）

ア ポルノサイト摘発（青島市）

10月17日青島市公安局は、ネット上にポルノサイトを開設し、猥褻な動画や写真を売って利益を得ていた男を検挙した。同男は、元々電子企業に勤めていたが、金に困ったことからポルノサイトを開設して金を稼ぐことを思いつき、某映画サイトにポルノ広告のバナーを掲載し自分のサイトに誘導していた。同サイトは今年7月に開設し、ポルノ動画、映像の他に、テレビ番組や映画の海賊版も販売していた。

イ 個人情報不法収集販売（青島市）

10月下旬即墨区警察は、不法に糖尿病患者の個人情報を得て、それを販売していたグループ3名を検挙した。当該3名は、ネット上に血糖値が下がるとの広告を掲載し、その広告に登録してきた糖尿病患者の個人情報を入手し、詐欺集団に

海外安全対策情報

対して個人情報一人分につき 60～70 円で売りさばいていた。当該グループは、これまでに 5 万人分の個人情報を入手して、100 万元近くの利益を得ていた。

(14) 賭け麻雀店摘発（青島市）

市北区公安分局に、某マンションの部屋は入口に見張りがいて、不特定多数の人が出入りし、中から麻雀牌を打つ音がするとのたれ込みがあった。10 月 15 日、警察官が同部屋を捜索したところ、麻雀店の経営者及び賭博客 8 名を検挙し、賭け金 3000 元を押収した。同日、他の場所でも賭け麻雀店の捜索が行われ、9 名を検挙、賭け金 6000 元を押収した。検挙された麻雀客は 10 日間の行政拘留、経営者は刑事勾留を受けた。

(15) 遭難者に対する罰金（青島市）

12 月 7 日、嶗山登山に行った家人が夜になっても帰ってこないとの通報が嶗山風景区に入ったことから、捜索隊を組織し捜索を開始した。8 日午前 4 時で一旦捜索を打ち切り、午前 8 時から捜索を再開したところ、遭難者を発見、救助した。同遭難者は、未開放地区に立ち入り遭難したとのこと。嶗山風景区管理局は「中華人民共和国自然保護区条例」に基づき、自然保護区内で管理機構の管理に従わなかった行為を犯したことにより 1000 元の罰金を課した。同罰金は、未開放地区立ち入りに対する最初の罰金事案である。

(16) 交通関係（青島市、濱州市）

ア 暴走トラック（青島市）

11 月 4 日、酒に酔った男が、城陽区の建設現場でゴミ回収のため順番待ちしていたトラック運転手を無理矢理車から降ろし殴打した後、トラックを奪って逃走したが、途中の住宅の壁にぶつかってトラックは立ち往生した。警察が臨場した際には同男は車内で眠っていたことから、派出所に連行し強制的に覚醒させたところ、男は同日城陽区に来て宴会に参加して酒を飲んでおり、トラックを奪ったことは全くおぼえていなかった。

イ 死亡ひき逃げ（青島市）

10 月 30 日、即墨区において 76 歳の老人がひき逃げされ死亡するひき逃げ事故が発生した。老人には、多くのひかれた痕跡が残っており、警察が現場の遺留物や監視カメラ映像を確認したところ、老人をひいた車は 3 台であることが判明、それぞれ 3 台 3 名の運転手を特定、検挙した。運転手らは、事故後怖くなって現場から逃走していた。

ウ 交通死亡事故（濱州市）

12 月 11 日朝、濱州市内の中学生が通学のために自家用車で中学校まで送ってもらい、中学校の門の前で降りたところ、後ろから来た通学バスにひかれた。すぐに救急車を呼びその場で救急措置がとられたが、死亡が確認された。事故の詳細な状況は捜査中である。

4. 治安対策等報道

1 違法薬物検知器導入（平度市）

10月から平度市公安局に毛髪薬物検知器が導入された。この検知器は6ヶ月以内に違法薬物を使用したことを検知することができるもので、これまでの尿検査では10日前までしか薬物検知できなかったが、大幅に検知できる期間が長くなった。

某女性は、2017年までに複数回違法薬物を使用したことで、薬物中毒者に認定され、定期的に尿検査を受けていたところ、検査を受ける10日前から薬物の使用を止めれば、薬物反応は検知されなかった。しかし、10月に毛髪薬物検知器を受けたところ、毛髪から薬物反応が検知され、2年間の強制隔離処分を受けることになった。

2 電動自転車ナンバープレート設置（山東省）

山東省では、12月1日から2020年5月31日までの間に全電動自転車の登録・ナンバープレート設置が義務付けられる。新基準（CCC）及び今年4月15日以前に購入し旧基準を満たした車両は、性能証明と購入証明の提出及びサイズ、重量などの検査を経て、登録されナンバープレートが発行される。上記2基準を満たさない電動オートバイを除く電動二輪車には臨時ナンバーが発行され、2022年末まで通行が許可される。

3 青島市公安局検挙統計（青島市）

青島市公安局は、9月から2ヶ月間集中取締りを実施し、刑事事件を3000件、8000名の容疑者を検挙した。青島市の刑事事件件数は昨年が前年比30.9%減少し、今年の1月から11月までの期間も前年同期比13.5%減少した。

青島市公安局では、今年に入り、電信ネット詐欺860件を検挙し、犯罪資金2.6億元を凍結した。また、薬物犯罪610件を検挙し、各種違法薬物27.1kgを押収した。さらに、交通違反取り締まりにも力を入れ、酒気帯び運転2万4千件、酒酔い運転6900件を検挙するなど、530万件の交通違反を検挙した。

4 電子運転免許証使用開始（青島市）

青島市公安局は、12月20日から運転免許証、車両運転証、車検証の電子化を、2020年1月1日から貨物車通行証の電子化を開始する。電子化できる許可証は、青島市公安局交通警察支隊が発行した許可証であり、wechat上の公式アカウントで登録、本人認証をすれば電子証となる二次元バーコードが発行される。

運転手が紙の許可証を携帯していなくても、二次元バーコードを警察官に提示し、警察官が専用端末で読み取り、真正なものと確認できれば、紙の許可証と同じ効力を有する。交通違反取締り、交通事故、職務質問などの際に、使用することができる。

（了）